

日本ディベート協議会主催

第2回

# 日本語ディベート大会

論題：日本政府は医療行為としての安楽死あるいは脳死した提供者からの臓器移植を合法化すべきである

日時：1996年3月23日 9時30分～

場所：神田外語大学四号館

## ごあいさつ

昨年JDA設立10周年の記念行事として開催した日本語ディベート大会は、皆様の協力のおかげで、ここに第2回大会を迎えることができました。日本におけるディベートの普及・発展に微力ながらも寄与できることは、我々にとって大きな喜びであり、光栄なことでもあります。今後さらに回を重ね、できれば地方予選等も実施し、ディベートの普及に貢献していきたいと存じます。

今回は、生命・医療倫理の問題を論題として取り上げ、出場者や聴衆の皆様に日本が直面している重要な問題を検討していただく機会を提供できるのも大きな意義のあることです。「安楽死」、「脳死」、「臓器移植」という個々の問題も日本国内外で論議の別れる重要な問題です。さらにこれらの背景には、「生命」、「死」、「医療」という大きな問題があります。

ディベートによって聴衆の皆様のこれらの問題に対する理解が進めばと存じます。ディベートの肯定側・否定側の役割は、口頭で己の立場を擁護し相手の議論を論破しようとすることによって、第三者である聴衆や審査員に理性的な意思決定ができる根拠を提供することにあります。競技としての性格上、討論者は自分の信念と関係なくどちらの側に立つかを決められています。このことは、生命や死を話し合う時とかく感情的になりがちな議論を冷静かつ理性的なものにしてくれます。また、日頃あたりまえだと考えている議論や価値観を吟味し、問題を更に深く掘り下げたり普段気が付かないものごとの間の関係を明らかにしてくれます。

討論者は、日本の社会が注目している問題について公開の場で議論しているのだということを忘れないでください。トーナメントディベートの部の出場者の皆さんも、決勝に進めば一般の聴衆の前で試合をします。その時は、数人の審査員の後ろには多数の一般の方が皆さんの議論に注目しているのだということを忘れないでください。

それでは、皆様、知的議論をお楽しみください。

井上 奈良彦

日本ディベート協議会会長  
井上奈良彦  
(九州大学助教授)

## 日程

開会式	9:30
第一試合	10:00
昼食	11:45
第二試合	12:45
結果発表	14:45
トーナメントディベーターの部決勝戦	15:00
閉会式	16:30
終了	17:00

## フォーマット

肯定側第一立論	6分
反対尋問(否定第二論者→肯定第一論者)	3分
否定側第一立論	6分
反対尋問(肯定第一論者→否定第一論者)	3分
肯定側第二立論	6分
反対尋問(否定第一論者→肯定第二論者)	3分
否定側第二立論	6分
反対尋問(肯定第二論者→否定第二論者)	3分
否定側第一反駁	4分
肯定側第一反駁	4分
否定側第二反駁	4分
肯定側第二反駁	4分